

大学名等	東北大学大学院医学系研究科
教育プログラム・コース名	婦人科腫瘍専門医コース（正規課程）（テーマ②）
対象職種・分野	医師・婦人科腫瘍
修業年限（期間）	4年
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオバンクを活用したマルチオミクスと臨床情報を統合したデータ解析に基づく婦人科がんの個別化医療の開発に関する指導的研究者</li> <li>・がんサバイバー（がん治療後の女性ヘルスケア、妊孕性温存）に対応できる婦人科腫瘍医</li> </ul>
修了要件・履修方法	必修科目を含む医学履修課程の系統講義コース4単位以上、トレーニングコース20単位以上、アドバンスド講義2単位以上、計30単位以上を取得して、論文研究に合格すること。
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt; <u>臨床腫瘍学特論I～II*</u>（4単位）、<u>臓器別臨床腫瘍学特論</u>（4単位）、<u>次世代腫瘍予防学特論</u>（2単位）、<u>腫瘍外科トレーニングIV</u>（6単位）、<u>論文研究</u>（10単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt; <u>がんプロ合同セミナー</u>（2単位）、ほかコア科目系統講義コース科目・トレーニングコース科目・アドバンスド講義科目、がんプロ科目トレーニングコース科目。*ゲノム医療、希少がん、小児がん、次世代腫瘍予防、腫瘍研究開発に対応、#遺伝子診療部教育セミナー、希少がん・難治がんカンファレンス、がんセミナー等を含む。</p>
がんに関する専門資格との連携	婦人科腫瘍専門医（日本婦人科腫瘍学会）の研修施設として認定。臨床細胞専門医（日本臨床細胞学会）の研修施設として認定。がん治療認定医の研修施設として認定。臨床遺伝専門医（日本人類遺伝学会、日本遺伝カウンセリング学会）の研修施設として認定。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIを含む情報科学に精通した婦人科腫瘍医の育成（新規性）</li> <li>・婦人科領域の希少がんや難治がん、若年者の婦人科がん（子宮頸がん、卵巣腫瘍など）、AYA世代がん患者サバイバーの女性ヘルスケア、妊孕性温存に精通した婦人科腫瘍医（独創性）。</li> <li>・海外との共同研究を積極的に行う（留学期間を在学期間に参入する規定あり）。</li> </ul>
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大学病院婦人科および未来型医療創成センターの教授以下の教員7～8名、が中心</li> <li>・遺伝科、東北メディカルメガバンク等の各々の領域の専門医が連携して指導する。</li> </ul>
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北地方のがん診療連携拠点病院に勤務し新ニーズを普及・啓発</li> <li>・修了後3年以内に婦人科腫瘍専門医や細胞診専門医取得</li> <li>・婦人科がん個別医療の開発・普及を担う大学等の臨床婦人科腫瘍学研究者</li> <li>・日本婦人科腫瘍学会など専門学会での舵取り役</li> </ul>